

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用）

歴史総合 科目 社会

教科： 歴史総合 科目： 社会科

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 高等学校 明解歴史総合 帝国書院 ）

教科 歴史 の目標：

【知識及び技能】現代の歴史の変化に関わる諸事象について理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け

【思考力、判断力、表現力等】・近現代の歴史に関して、多面的・多角的に考察したり表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に研究等することができ

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	歴史事象の意味や意義など、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論しらるる力を身に付けさせる。	よりより社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、各国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	2部 1章 江戸時代の日本と結び付く世界	18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのだろうか。	①18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り、理解している。 ②「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	10
	2章 欧米諸国における近代化	欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。	①市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。 ②市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 ③市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	3章 近代化の進展と国民国家形成	近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。	①国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 ②国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	11
	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。	①欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 ②「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 ③欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○	○	1	
2 学期	3部 1章 第一次世界大戦と日本の対応	第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争になったのだろうか。	①国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 ②第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 ③勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について	○	○	○	12
	2章 国際協調と大衆社会の広がり	欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。	①ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 ②新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	13

3 学 期	3章 日本の行方と第二次世界大戦	大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。	①世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 ②ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 ③世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	12	
	4部 グローバル化と私たち	冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような選択や経済成長を遂げたのだろうか。また、冷戦が終わり、グローバル化は、世界をどのように変えたのだろうか。	①冷戦の始まりと終結の経緯に関する各国の選択と経済成長や、冷戦終結後のグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。 ②冷戦における世界と日本の動向について、各国の選択、政治・経済の関連や諸地域間の比較などを通して、諸現象が起こった要因や世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。 ④冷戦における各国の動向、グローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	10	
							合計	92